



立山町立釜ヶ淵小学校

R2. 2. 9

## 大雪から見えてくる伝統



新築したようにリフレッシュした校舎で迎えた冬は、35年ぶりの積雪1mを超える大雪となりました。子供たちも、降り積もったたくさんの雪や臨時休業に驚いたことだろうと思います。35年前の昭和60年1月の大雪は、「59豪雪」と言われています。本校も昭和59年12月に「小学校改築落成式」を終えて迎えた冬でした。

きっと当時もきれいになった自分たちの学校を守ろうと、高学年の子供たちが朝から除雪作業を行ったことだろうと思います。今の高学年の子供たちの様子を通して、当時の様子を垣間見るような気がするとともに、今もその伝統が受け継がれているのではないかと感じました。

今、5年生は卒業をお祝いするプロジェクトを進めています。この活動も毎年5年生が中心となって進め、一つの伝統となっています。この活動を通し、AさんもTさんも最高学年としての自覚が高まることを願っています。

今月もよろしくお願ひします。

### ○ 情報モラル指導 上市警察署 ○



2月3日、上市警察署地域安全課から来ていただいて、「ネットトラブル防止教室」の出前教室を行いました。インターネットはいろいろな機器とつながり、瞬時にいろいろな情報を得ることができるため、とても便利です。しかし、その便利さと同時に、多くの危険性もはらんでいます。今回は、「文字だけのコミュニケーションは、真意が伝わりにくく、相手に誤解を与えるおそれがあること」や「SNSを通して知らない人の誘いにのらないこと」等を教えてもらいました。

その後の質疑応答では、ネットトラブルに限らず、警察の仕事内容等、子供たちの質問に丁寧に答えてくださいました。Tさんも警察官の仕事について、進んで質問をしました。

- ・ぼくは、写真をあげるときは気をつけなければいけないと学びました。インターネットを使うときは気をつけようと思い、ルールを決めて利用しようと思いました。(A)
- ・警察官の仕事に質問して、たくさんの仕事があることが分かりました。警察官は、未然に事件を防ぐのをがんばっていると思いました。(T)

## ○ 1月のスタッフ ○



情報指導（長岡先生）



お礼の手紙渡し



4年教室で報告

- ・19日、20日、特別非常勤講師の長岡先生から、パワーポイントの使い方を2回に分けて教えてもらいました。1回目は、1枚のスライドで順に絵や文字を出す方法を教えてもらい、2回目は複数枚のスライドの使い方について教えてもらいました。
- ・1月24日から30日は、全国学校給食週間でした。AさんもTさんに給食でお世話になってい平川さんにお礼の手紙を書きました。手紙は全校分まとめて、給食委員会の代表がそれぞれに手渡しをしました。
- ・1月末から卒業をお祝いするプロジェクトがスタートし、2月3日はその代表委員会がありました。各学級へ話し合った結果報告をする担当を、Aさんは進んで手を挙げました。4年教室へ行き、大きな声で落ち着いて報告することができました。

## ○ お知らせ・連絡 ○

- ・チャレンジテストは、学習した内容の定着を確かめるために、県内全小学校で行われています。今年度から1月に1回の実施に変わったことに伴い、5年生相当の級は4級及び3級から2級になりました。
- ・タブレットパソコンの持ち運び用の袋を用意していただきありがとうございました。今の利用方法は、平日は学校で利用、休日は家庭で利用することになりました。そのため、体操服類と同じように金曜日は家に持ち帰り、月曜日は学校へ持ってくるようになります。



### < 担任の「あおぞら日記」 >

1月後半、Aさん、Tさんと続けて給食当番をしました。給食当番内の役割分担は決めておらず、集まってきた者から順に仕事を選びます。Aさんは、ご飯や味噌汁等の盛り付けの担当をしたいので、4限が終わるとすぐにランチルームへ急ぎます。Tさんも急ぎますが、なかなか盛り付けは選ばず、牛乳や箸を並べる仕事を選びます。

Tさんが給食当番の週末のこと。Tさんがランチルームへ行くと、当番はまだ集まっていませんでした。Tさんは身支度を終えていたので、盛り付けをお願いしましたが、いい顔をしませんでした。他の先生もTさんに声をかけてくださって、とうとうご飯を盛り付けることになりました。まずは、一人分をいろいろ考えながらよそいました。そして、この量でよいのかを確かめました。OKの返事をもらうと、そのあとは、あわてずにその量を基本にしてよそっていました。

感心したのは、終わりに近付くと残った量を見ながら、量の調整をしたことです。最後には、ちょうどぴったりきれいに食缶を空にすることができました。周りから「上手によそったね」とほめてもらい満足した様子でした。

一人一人の性格は違うので、取り組むまでの過程は違っても、「やればできる」ことを実感しました。二人には、これからもいろいろなことに挑戦してもらいたいと思いました。